

<見学順序>

- ① 山本書店→②東方書店→③一誠堂書店→④ランチョン

① 山本書店

山本書店ではご主人のご好意により『茶経』などの貴重な文献を間近で拝見することができました。また、こうした史料をめぐる中国の動向などの貴重なお話を伺うこともできました。



② 東方書店

次に向かったのが東方書店でした。東方書店は山本書店とは異なり、中国や台湾の新刊書を中心に扱っていました。

③ 一誠堂書店

一誠堂書店は上の2か所と違い、東洋以外の地域を扱った書物（主に西洋）を見ました。ここでやったのが値段当てゲーム！ 飯島先生が大学院生の頃、神保町に来られた際によくこのゲームをやっていたそうです。皆さんも神保町に行った際はぜひやってみてください！ 自分が想像していた値段と大分違っていて驚くと思います。

④ ランチョン (昼食)

ランチョンはビールが美味しいそうですが、残念ながらこの日は飲めませんでした。ですが、美味しいランチをいただきました！



<まとめ>

今回の見学でどの書店に行けば自分たちの研究に関する書物が置いてあるのかを知ることができました。また定休日のため、行くことができなかった魯迅とも関係が深い内山書店や天津包子と餃子の老舗であるスキートポーズは中国と日本の歴史を語る時の題材にもなるそうです。神保町は書店街というイメージでしたが、飯島先生との見学を通して町の歴史やそこに構えるお店自体の歴史を知ることができ、神保町の奥深さを感じました。飯島先生ありがとうございました。